NO. 211152

～“何をどのように誰が”進めればよいのか？
多様化・国際化が進む中で今後企業に求められるポイントを解説～

1名分料金で
2人目無料

医薬品工場に求められるHSE要件と対応事例【LIVE配信】

◆日時：2021年11月4日（木）10：30～16：30
◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
◆聴講料 ： 1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円（税込）
・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円（税込））

セミナーお申込みFAX
０３－５８５７－４８１２
※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：佐野HSEコンサル（株）代表取締役社長　佐野 旭　氏

≪ご経歴≫　元 日薬連BCPプロジェクト委員　、　元 日本製薬工業協会　環境安全委員会　委員　、　元 HSE国際Audit 内部Auditor

【講演趣旨】
多様化・国際化が進む中、製薬企業各社はこの対応をタイムリーに図り、事業活動に影響が出ることの無きようHSEを学び、社内にGlobal　Standardの導入を図ることが求められています。然しながら、GMPのように法律規制ではない為、後回しになっていて、どのように取り組めばよいのか解らないでいる内に時間が経ち手遅れになっていることに気がついておられない製薬企業が多く存在してしまっているのが現状のようです。そこで、このセミナーを通じて“何をどのように誰が”進めればよいのかについてきっかけを知って頂きたいと考えています。これにより、社会の国際化・多様化に対応できる企業となるための課題を明確にしていただく為のお手伝いが出来る講演になるものと考えています。是非ご参加ください。

【ポイント】
この講座では社会の多様化により、国内企業の方々が気になっておられるように外国の方々がどの町にも住んでいて更に国内企業で働いている現状があります。この方々はそれぞれの国の国民であるため、日本の文化になじむよう努力をしています。しかし、それぞれの国により文化は異なります。労働条件や残業はもとより、健康への影響のある仕事は製薬企業では外せない課題でもあります。安全も環境問題も企業の対応は国内企業が法律を守っていればよいと思い込んでいることが世界では受け入れられないことがたくさんあります。この課題に気づいて頂くことが重要です。

【習得できる知識】
・国際化に対応するHSE　Global　Standardの概要
・HSE（健康安全環境）のそれぞれのハザードに対するリスクアセスメントの基本
・曝露管理の重要性
・Ergonomis（人間工学）の基本知識とリスクアセスメント
・その他　従業員の健康を守ることの出来る企業のあるべき姿

1. はじめに
2. GMPとHSE
3. 国際化への対応
　3-1 国際化について　　3-2 日本国内の国際化現状
　3-3 近未来の日本国内製薬工場
　3-4 どのような対応が求められているか？どうすればよいか
4. HSE Global Standard
　4-1 HSE Global Standard とは
　4-2 国内企業におけるHSE Global Standardのあるべき姿
　4-3 国内企業におけるHSE Global Standardの現状
　4-4 国内企業が取るべき対応策
5. Health（健康）
　5-1 Healthにて求められているもの
　5-2 企業の健康被害対応事例
　5-3 高活性原薬の曝露管理
　5-4 封じ込めの必要性
　（例）COVID―19の封じ込めで考える
　5-5 曝露リスクアセスメントによる封じ込め評価
6. Ergonomics（人間工学）
　6-1 Ergonomicsとは　　6-2 重量物運搬
　6-3 PC作業姿勢　　6-4 Ergonomics Risk Assessment
7. Safety（安全）
　7-1 Safety リスクアセスメント
　7-2 Permit System（許可証管理）
　7-3 CPEとPPE（保護具）
8. Environment（環境）
　8-1 国際的な環境対象項目　8-2 会社統合による環境管理
　8-3 遊休地の管理　　8-4 工場土壌汚染対応
9. Security
10. HSE Audit
　10-1 ビジネスへの影響
　10-2 指摘事項例
　・原薬の曝露評価の結果、工場生産エリアで使用してるPPEや呼吸器の選択に対する検証が不適
　・原薬保管場所やQC試験室QCラボでは、CMR化合物の管理が不充分在庫リスト、薬品棚の換気、CMR表示、教育が不適
　・技術部門で電気工事のリスクアセスメントが抜けがあった。
　・繰り返し作業のリスクアセスメントがErgonomics評価出来ていない。
　・原薬ハザード管理上OEB,MSDSの手元資料更新がされていない。
　・消防水の排水が事業所外へ流出防止するシステムが無い。
　・請負業者への作業開始前安全教育が不適。
　Permit System、PPE使用確認、安全靴、ヘルメット、命綱使用他
　10-3 委受託契約前Auditの重要性
11. その他
　11-1 製薬工場の従業員の健康を守るために日常行うべきことは何？
　11-2 従業員の健康を守ることの責任者は誰？
　11-3 製薬工場事業所のTop Riskは何？

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順
1）Zoomを使用されたことがない方は、こちら（https://zoom.us/download#client_4meeting）からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
2）セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら（https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf）をご覧ください。
3）開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『製薬HSE【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住　　所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E－Mail
①		
②		

会員登録（無料）　※案内方法を選択してください。複数選択可。　□Eメール　□ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy

R & D SUPPORT CENTER
株式会社Ｒ＆Ｄ支援センター
〒135-0016　東京都江東区東陽3-23-24　VORT東陽町ビル7階
TEL）03-5857-4811　FAX）03-5857-4812　URL）https://www.rdsc.co.jp/